

# 情報資源組織演習B

科目ナンバリング LIH-211  
図書 選択 1単位

酒井 由紀子

## 1. 授業の概要(ねらい)

「情報資源組織論」での学習内容をふまえ、『日本十進分類法(NDC)』『基本件名標目(BSH)』にもとづいた演習を通じて、主題目録の考え方に理解を深め、実践的なスキルを習得する

## 2. 授業の到達目標

NDC新訂10版(2014)およびBSH第4版(1999)を用いて、基本的な図書館資料の主題目録データを作成できるようになる

## 3. 成績評価の方法および基準

演習課題を含む授業参加(40%);試験(60%)

\*ただし、欠席4回以内、すべての演習課題の期限内提出を試験の受験条件とします

\*また、試験における合格点を単位取得条件とします

## 4. 教科書・参考文献

参考文献

小西和信, 田窪直規編. 情報資源組織演習. 改訂, 樹村房, 2017, (現代図書館情報学シリーズ, 10), ISBN 978-4-88367-280-6.

【指定】もりきよし原編. 日本図書館協会分類委員会編. 日本十進分類法. 新訂10版, 日本図書館協会, 2014, ISBN 978-4-8204-1413-1.

【指定】日本図書館協会件名標目委員会編. 基本件名標目表. 第4版 日本図書館協会, 1999, ISBN978-4-8204-9912-1.

## 5. 準備学修の内容

- ・「情報資源組織論」の復習
- ・パソコン操作、キーボード入力の練習
- ・演習課題の提出と復習

## 6. その他履修上の注意事項

- ・「情報資源組織論」単位取得済みが履修条件
- ・第1回は授業の進め方、成績評価の方法などの重要な説明があるので必ず受講すること
- ・ほぼ毎回、パソコンを使った演習課題を課します

## 7. 授業内容

- 【第1回】 【春学期はオンライン】オリエンテーション
- 【第2回】 主題組織法の概要
- 【第3回】 分類作業の実際(1)NDCの使用法
- 【第4回】 【オンライン】主題分析のまとめ演習
- 【第5回】 分類作業の実際(2)NDC補助表の使用法
- 【第6回】 分類作業の実際(3)NDC0~2類
- 【第7回】 分類作業の実際(4)NDC3~4類
- 【第8回】 分類作業の実際(5)NDC5~7類
- 【第9回】 分類作業の実際(6)NDC8~9類
- 【第10回】 件名作業の実際(1)BSHの概要
- 【第11回】 件名作業の実際(2)BSHの使用法
- 【第12回】 件名作業の実際(3)BSHによる件名付与
- 【第13回】 総合演習(1)
- 【第14回】 総合演習(2)
- 【第15回】 授業内試験